

有明海再生の早期実現に向けて
「関係大臣への要請活動」を実施し、
「開門調査に関する連絡会（仮称）」
を開催します。



有明海再生
・
自然環境課

 佐賀県
<http://www.pref.saga.lg.jp/>

有明海再生の早期実現に向けて関係大臣 (農林水産大臣、環境大臣)へ要請します

有明海再生の
早期実現を目指して
ARIAKE-SEA

要請日

10月6日(木)または7日(金) (現在、申し入れ中)

面会者

農林水産省 大臣または副大臣
環境省 政務三役

要請者

四者
県、県議会、有明海沿岸市町水産振興協議会、有明海漁業協
同組合

農林水産大臣への要請

有明海再生の
早期実現を目指して
ARIAKE-SEA

鹿野農林水産大臣が、開門方法として調整池の水位を現状と同じ、海拔-1.0~-1.2mで維持する制限開門ケース3-2の方針を示されましたが、この方法は、これまで求めてきた海水導入量の最大化とは大きくかけ離れたものです。

→ 全開門(海水導入量の最大化)を原則とすることを求めます。

鹿野農林水産大臣が、開門に関する当事者である佐賀県に、事前に何の説明もなく開門方法を表明されたことは、到底受け入れることはできません。

→ 開門方法の決定過程においては、必要な都度、事前に佐賀県に十分な説明を行うことを求めます。

環境大臣への要請

有明海再生の
早期実現を目指して
ARIAKE-SEA

有明海再生の早期実現のために、最新の研究成果等に基づき、有明海の再生に係る評価を行うことが必要です。

→ その評価を行う総合調査評価委員会*の役割に大きく期待しており、一日も早く開催されることを求めます。

今後行われる開門調査の結果が、有明海再生につながるものとなるよう科学的かつ客観的に評価されることが必要です。

→ 総合調査評価委員会*において、開門調査の計画段階から評価を行うことを求めます。

*:総合調査評価委員会（休眠状態になっていた機能が、法律の一部改正により回復。国、県が行う総合的な調査結果に基づいて有明海の再生に係る評価を行う唯一の法定委員会）

県内関係者との「開門調査に関する 連絡会（仮称）」を開催します

有明海再生の
早期実現を目指して
ARIAKE-SEA

1 開催目的

開門調査に関する国等の動きについての報告及び意見交換を行うこと。

2 開催予定日

関係大臣への要請後、10月中旬を予定（関係者と調整中）

3 構成メンバー（予定）

佐賀県

有明海沿岸市町水産振興協議会

（佐賀市、鹿島市、小城市、神崎市、白石町、太良町）

有明海漁業協同組合

お問い合わせ先

有明海再生の
早期実現を目指して
ARIAKE-SEA

有明海再生の早期実現に向けて「関係大臣への要請活動」を実施し、
「開門調査に関する連絡会(仮称)」を開催します。

県の担当窓口

佐賀県 暮らし環境本部 有明海再生・自然環境課 有明海再生担当

電話番号：0952-25-7349 Eメール：ariakekaisaisei@pref.saga.lg.jp

有明海再生
・
自然環境課

